

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
 地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

も く じ

- 進化する「居場所」と地域づくり……………1P
- ベティ基金交流会……………2P
- NPOリーダー研修に参加して……………2P
- 高校生レストラン……………2P
- NPO担当若手職員リレー……………2P
- インターンシップ受入報告……………3P
- インフォメーション……………4P

進化する「居場所」と地域づくり

みなさま、新年あけましておめでとうございます。
 旧年中は、本法人へのご支援まことにありがとうございました。

日本福祉大サービスラーニングでは、30団体のみなさまにご協力いただきました。あかり、toピア、はっぴいわん大府で活動したゼミ生たちは、「居場所は仲間ができて、安心感をもたらす」という分析をしています。「無縁化」「孤立化」という社会課題を解決する一方策としての居場所。「排除しない＝対等に関わり合う」という視点と「わいわい楽しい日常」を創り出す効果への気づきにつながりました。

ちた地域の居場所づくりはとどまる所を知りません。NPO法人びすた〜り(知多市)では、空き店舗を自力改修中。4月オープンを目指し、精神障害のあるチーム「ふるぼ」が自然栽培の農作業と平行し、準備をしています。チームに「生活支援サービス」事業立ち上げを提案したところ、「私、ヘルパーの資格持ってる」「俺、左官屋だった」など前向きなことばが発せられ、今後の活動が期待できそうです。



半田市岩渕区「りんごびあ」

12月には、NPO法人りんりん(半田市)が、放課後児童クラブ・児童デイサービスの新拠点「りんごびあ」を開所しました。地区との連携、多世代交

流を進め、子ども食堂も始まりそうです。

このほかNPO法人絆(東浦町)の「あんきにきて家」が1月23日にプレオープンします。町地域福祉計画の居場所部会に参加し、常設型の必要性をひしひし感じ、即実践。母屋で行なってきた「さをり織り教室」が移動します。その参考にと今年度のNPOリーダー研修では、

大阪豊崎長屋を訪問、改修古民家での障害者の仕事の場づくりを学んで来ています。(2・4面)



東浦町「あんきにきて家」

『下流老人』(藤田孝典著・朝日新書)を読めば、50代以下の恐怖の高齢期が描かれています。『生活困窮者自立支援を通じた地域づくり』をテーマとした愛知県協働促進会議でも、予防・早期把握につながる居場所づくりは、「地域づくりヒント集」にも挙げられていきます。

コミュニティ運営の南粕谷ハウス(知多市)には、生活困窮をテーマで追う毎日新聞記者が12月取材に訪れました。ここを見学した美浜町美浜緑苑のボランティアグループが週1開催の居場所でうどんを提供し始めたところ、さっそく孤立化した老々世帯の発見につながったといいます。

現場の勢いに負けぬよう「0～100歳の地域包括ケア」を掲げた地域ビジョンに沿って活動を進めて参りますので、どうぞ本年もよろしく願いいたします。(岡本)

住民参加で創る“地域の助け合い”学習会 2月9日午後 知多市勤労文化会館

知多北部広域連合圏域(3市1町)のNPOが実行委員会を組む、2月9日に住民参加で創る“地域の助け合い”学習会を開催する。一般住民を対象に、29年の新しい総合事業を見据え、「居場所づくり」「外出支援」「地域連携」「見守り」などの実践事例を参考に、地域に必要なもの、住民にできることを考えていく。28年度からは、NPOが各市町の協議体に加わり、足りないサービス創出に力を入れていく。(五十嵐)

■ベティ基金交流会

ベティ基金発足丸1年を迎え11月29日(日)提供者である株式会社Rand Tカンパニー(3人)と、寄付金を受領した9団体(17人)が有料老人ホーム「ベティさんの家」(東海市)で初めての交流会を開催した。



初めて会う団体もあり、互いの活動内容に刺激を受ける機会となった

一部では、太鼓やダンスなど普段の活動を居住者に披露、二部は参加団体から感謝の気持ちを述べた。続いて互いに活動紹介を行い、今後の展望等も話し合った。今回が初顔合わせだったこともあり、支援のための継続した勉強会、障害があっても自分たちが役立つ場面をつくる(ボランティア受入)、ケアキットプログラム(性教育)など、参加団体の共通する課題を確認、双方が協力してできることもあるのではとの提案もあった。基金の縁をきっかけに、次なる展開が新たに生まれそうな良い機会となった。(江端)

■NPOリーダー研修に参加して

研修先：SAORI豊崎長屋/SAORI会館/NPO法人フェリスモンテ(大阪市)/参加者9名



さをり織り教室「豊崎長屋」で障害者から手ほどきを受ける研修参加者

地域での居場所づくりが求められる中、今回の訪問先は、「いつでも行ける場所」からさらに踏み込んで、より“自分らしく”、自分を“活かせる”居場所という点で、先駆的な取り組みをさせていただきました。

「豊崎長屋」や「さをりひろば」ではさをりの講師や作家として、「フェリスモンテ」ではお弁当の配達やコミュニティカフェの担い手として、支援を受ける側の人たちも役割をもち、生きがいを感じて過ごされているご様子でした。一人ひとりに合った役割がきめ細かくコーディネートされ、それが上手くマッチングすることで、生きがいにつながっているのだと感じました。

これからのNPOは、制度とのハザマのニーズをひろいあげて支援するだけではなく、その方に合った役割をコーディネートし、新たな居場所をともに見出す能力が求められているのかもしれない。

(NPO法人 絆 鈴木 真由美)

■高校生レストラン

12月25(金)、26日(土)、県立知多翔洋高等学校ライフカルチャー系・調理コースの3年生20人が両日2チームに分かれ計80食を完売した。

学校関係者や保護者らは生徒の姿を温かく見守りながらランチに舌鼓を打った。調理場(写真)では、戸惑う生徒に対して生徒同士で声を掛け合うなど、主体的に動いていた。営業後、遅めの昼食をとりながら「思っていたより大変」「声を掛け合うことが大切」「はじめての接客は楽しかった」と安堵の表情を浮かべつつふりかえった。

卒業後調理師を目指す生徒もおり、この経験を生かして頑張ってもらいたい。(竹内ゆ)



ランチテーマはクリスマス。チキンソテー2種ソース、サーモンのパン粉焼き、キッシュ、サラダ、スープ、ピラフ、デザート付800円

NPO担当若手職員リレー

高浜市企画部総合政策グループ

主事 加古博紀さん



入庁と同時に、総合政策グループに配属。市民活動団体の活動やイベントに関心を持つようになった。総合政策グループは、協働に関する業務だけでなく、広報紙の発行・市公式ホームページの管理なども行っており、現場(地域)に出た取材等が多い事が特徴的である。

高浜市では、5つの小学校区ごとにまちづくり協議会が組織されている。その小学校区の町内会、婦人会や子ども会、PTA等が集まり、地域の課題解決のため様々な取り組みを行っている。また、「まちづくり協議会特派員」という制度もあり、職員が地域と対等なパートナーとして、まちづくり協議会と行政のパイプ役となり、協働によるまちづくりを行っている。

「まちづくり特派員として、防災・防犯など様々な活動をするまちづくり協議会に関わってみると、本当に熱心な方が多く、まちを知り尽くしていると感じた。私自身、もっと地域の様々なことを知り、まちづくりに貢献できる職員にならなければ」と結んだ。(新保)

■インターンシップ受入報告

NPOの理解をはじめ協働の必要性の認識、各々視点に立った関わりの意識が高まるとして今年度は名古屋短期大学1年2名、大府市職員2名、愛知県職員採用2年目12名、計16名を受け入れた。研修期間中は、行政職員研修やNPO現場見学バスツアー、協働推進会議、スタッフ研修などに従事した。今年8月～12月に受け入れた大府市職員2名と愛知県2年目職員12名(写真)の事後レポート(抜粋)は以下の通り。

- * 「相手側に立って考える」経験を活かして、どの部署に行っても業務に臨みたい。
- * 地域のNPO同士の良いところをお互いに紹介し合い、相談しあえる繋がりを作る役割の大切さを実感した。
- * 高齢化が進む社会において、地域の人々が主体となって開催することの凄さ、市民活動がどれほど大切なのか、人とのつながりがどれだけ大切なのかを感じることができた研修だった。
- * 行政はNPOの存在を尊重し、NPOをいかに支援できるかを考えていかねばならないと強く感じた。
- * 目の前にある課題はもちろん、国の政策も考慮しながらの長期的な視野を持った課題にも対応しようとする姿勢から、NPOの多岐にわたる可能性を学ぶことができた。

【NPOに対して感じたこと】
 風土に合った居場所づくり
 組織的、多岐にわたる活動
 実現するための仕事の姿勢
 どの施設も利用者の笑顔！
 地域を良くしたい人が多数
 農業と福祉を結ぶ活動！



大府市役所
市民協働部環境課
山田達也



大府市役所
総務部税務課
小島崇寛



健康福祉部
保健医療局健康対策課
澤田美帆



西三河
県税事務所
早川貴啓



名古屋南部
県税事務所
草野史裕



東浦高校
深谷優衣



健康福祉部
障害福祉課
杉浦友也



議会事務局
酒井順一朗



衣浦東部保健所
中西しのぶ



農業総合試験場
山間農業研究所
鈴木太郎



知多建設事務所
石川洋史



建設部
建設業不動産業課
大江真世



知多保健所
長縄直樹



豊田加茂
県税事務所
内藤達彦

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

■「あんきにきて家」プレオープン

来春スタートする常設の居場所「あんきにきて家」のお披露目会です。式典等は行いません。お気軽にお越しください。

〈日時〉1月23日(土) 13時～15時半

〈場所〉地域たすけあいセンター絆

あんきにきて家(徒歩1分)

(知多郡東浦町大字緒川字北赤坂35番地の1)

〈問合せ〉(N)絆 ☎ 0562-83-7563

■シンポジウム「地域づくりの資金を考える」

あいちモリコロ基金の理念と成果を継承発展させる「基金像」や、地域づくりを支える「資金システムや支援策」について考える。

〈日時〉1月30日(土) 13時半～16時半 〈定員〉150名

〈会場〉名古屋都市センターホール

(名古屋市中区金山町1-1-1 金山南ビル11階)

〈申込問合せ〉(N)ボランティアネイバーズ

<http://www.vns.jp/> ☎ 052-979-6446

メール office@morikorokikin.jp

■第7回全国権利擁護支援フォーラム

「憲法」がクローズアップされている今、「意思決定支援」を「憲法」というフレームの中で考えたらどうなるか。「意思決定支援」「権利擁護」を様々な角度から考えます。

〈日時〉2月13日(土) 13時半～17時

2月14日(日) 9時～12時

〈会場〉日本福祉大学東海キャンパス C201教室

〈定員〉200名

〈参加費〉正会員 5,000円(1日のみ 3,000円)

賛助会員 6,000円(1日のみ 4,000円)

一般 8,000円(1日のみ 5,000円)

〈申込問合せ〉全国権利擁護支援ネットワーク

<http://asnet-japan.net/> ☎ 047-407-4584

■スタッフ募集

ケアマネージャー(常勤)、居宅介護ヘルパー(非常勤)を募集。給与、勤務日数等をご相談ください。

〈問合せ〉(N)東海時在宅介護家事援助の会ふれ愛(渡邊)

(東海市養父町苅宿31-1) ☎ 0562-36-0085

■□ サポートちた □■

□第5回ベティ基金助成先募集

株式会社 RandT カンパニーより預託され 2014 年 12 月にベティ基金設立、知多半島の障害者支援活動団体を応援する。

〈助成金額〉1 団体につき 8 万円

〈助成件数〉4 団体

〈内容/対象〉制度外の障害児者支援の取組を行う団体

〈支払時期〉平成 28 年 5 月(予定)

〈担当〉江端

□ NPO 現場見学バスツアー

【第140回 テーマ「NPO・行政・地縁との連携」】

〈日時〉2月23日(火) 9時半～16時半

〈見学先〉①NPO法人知多地域成年後見センター

②南粕谷ハウス、③NPO法人あかり

【第141回 テーマ「NPOってなあに？」】

〈日時〉4月21日(木) 9時半～17時

〈見学先〉①NPO法人知多地域成年後見センター

②手づくりカフェAda-coda

③NPO法人ゆいの会、④NPO法人あかり

〈共通/集合場所〉知多市市民活動センター

〈共通/参加費〉5,200円(昼食代別途)

〈担当〉江端

□介護職員初任者研修 知多通信コース

〈日程〉4月16日(土)～7月30日(土)

〈会場〉知多市市民活動センター

〈受講料〉70,000円(テキスト代・実習費・税込)

〈担当〉竹内み

□行動援護従業者養成研修講座

〈日程〉3月5、6、13、20日(全4日間)

〈会場〉知多市市民活動センター

〈受講料〉30,000円(テキスト代・税込)

〈担当〉五十嵐、山森

NPO現場見学バスツアー



2月23日(火)は残9席です。
お早めにお申し込みください！

オブショナルバスツアー受付中！

目的に合わせて研修を組んでみませんか？
ご相談は随時受付しておりますのでお気軽にご連絡ください。(担当:市野)



特定非営利活動法人
地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1
知多市市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631
Fax 0562 (33) 1743